

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年2月27日

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	2770700678
法人名	社会福祉法人 博光福祉会
事業所名	寿里苑フェリスグループホーム
所在地	河内長野市加賀田885-2 (電話) 0721-62-0700

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 2月 9日

【情報提供票より】(平成 19年 12月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	4人, 非常勤 5人, 常勤換算7.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	5階建ての	2階~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

(4) 利用者の概要 (平成 19年 12月 31日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.2歳	最低	77歳	最高	87歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	寿里苑診療所・寺元記念病院・岡記念病院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

設立後21年の歴史を持つ社会福祉法人が運営するグループホームです。老人保健施設、デイサービスセンターに併設しており、医療連携サービスが充実しています。理念には「地域・家族・あらゆる関係機関の協力をいただき、皆様がいままで安心して暮らしていただくことをお約束します」を掲げ、安心して暮らし続けられる支援を表明しています。ホームは5階建て2階部分に位置し、日当たりや景観が良く生活空間を広く設定しています。居室には冷蔵庫や茶器など多くの私物が置かれ、馴染みやすい環境づくりを支援しています。犬を飼うことが楽しみごとになっている、毎日入浴ができる、自分で小銭入れを持つことができるなど利用者の意向を尊重した支援をしています。職員の離職や異動が少なく安定したサービス提供を続けています。

【重点項目への取り組み状況】

点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 管理者は前回の外部評価結果を職員に知らせ、職員と協力してこの1年間改善に取り組みました。前回の評価で改善が求められた課題は1項目のみで「利用者の服薬状況を介護記録に残す」という課題を改善しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者は職員会議で外部評価調査についての説明をしています。自己評価票の作成に当たっては職員の意見を聞いて計画作成担当者がまとめています。話し合いや取り組みの経過については会議録に記載し共有しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 主な内容は、1)運営推進会議の目的や主旨説明 2)ホーム運営についての説明や施設案内 3)外部評価結果の説明 4)意見交換です。意見交換では①介護保険サービスの周知徹底と困っている高齢者支援が重要②当事者が活用しやすい介護保険サービスの情報提供を望む③介護保険料の値上げは利用者にも施設運営者にも大きな影響を及ぼす④市内のグループホーム事業所の連携をさらに強化し、サービスの向上を図りたい⑤地域・施設・行政が一体となって地域福祉の向上に努めたい⑥施設における事故・虐待防止は重要⑦施設運営に取り決めが多くなると利用者が窮屈にならないかと心配する等の意見が出されています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が来られたら十分に意見を聞く時間を設け、利用者の暮らしぶりや健康状態などを報告しています。毎月1回は請求書や連絡事項を家族へ送付し、2ヶ月に1回は写真入のホーム新聞を発行しています。利用者の金銭管理は行なっていませんが、自分で小銭入れを持つことを認めています。運営推進会議に家族の参加を依頼し、出席された家族には発言の機会を設けています。会議で出された意見はホーム運営に反映しています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者と共に地域の小学校運動会や文化祭に参加しています。運営推進会議には地域の民生委員や老人会婦人部長の参加を得ています。夏祭りでの盆踊りなどには地域ボランティアの協力を得ています。地域のスーパーや商店などでは利用者が気軽に買い物ができるよう、見守り等に協力してもらっています。また、犬の散歩で地域の人々と挨拶を交わす等交流の機会があります。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の一つに「地域・家族・あらゆる関係機関の協力をいただき、皆様がいつまでも安心できる住まいであることをお約束します。」と表明し、地域の中で安心して暮らし続けられる支援を約束しています。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム理念は職員全員が話し合い作成したもので、生活に密着したものになるように日常的に意識しながら、利用者支援に活かしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域の小学校運動会や文化祭に参加しています。運営推進会議には地域の民生委員や老人会婦人部長の参加を得ています。法人夏祭りには地域ボランティアが盆踊りの協力をしています。地域のスーパーや商店などでは利用者が気軽に買い物ができるように、協力してもらっています。また、犬の散歩で地域の人々と挨拶を交わすなどの交流があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員会議で外部評価調査についての説明をしています。自己評価票の作成に当たっては職員の意見を聞いてまとめています。話し合いや取り組みの経過については会議録に記載し共有しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等に付いて報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議開催については簡単な取り決めをしていますが、開催頻度については行政のアドバイスを受け概ね3ヶ月に1回実施としています。しかし開催回数については年間概ね6回という基準が設定されているのを考慮し、今後の課題として検討する予定です。会議で出された意見はサービス向上に活かすよう取り組んでいます。	○	運営推進会議は概ね2ヶ月に1回、年6回開催することが求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは何かあれば相談したり、情報交換をしたりしています。分からないことは市に質問をして確かめながら進めることで事業運営を適切に行なえるよう努力しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回は請求書や連絡事項を家族へ送付しています。また、2ヶ月に1回写真入のホーム新聞を発行して家族等に喜ばれています。家族が来られたら、利用者の暮らしぶりや健康状態などを報告しています。利用者の金銭管理については行なっていませんが、自分自身で管理をしている利用者が5人おられます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたら十分に意見を聞く時間を設けています。運営推進会議への家族参加を依頼しています。出席された家族には発言の機会を設け、会議で出された意見はケアプランやホーム運営に反映しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職は少なく、法人内異動は最低限度にしています。管理者の交代も無く安定したサービスを提供しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修が定着しています。内外合わせて年6回以上の研修を受講しています。研修内容には認知症の接遇や応急手当て、感染症対策などが含まれています。研修記録はファイルして共有しています。また、同業者ネットワーク学習会への参加や自己研鑽学習報告が行なわれており、職員の積極性が伺えます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者ネットワークづくりに取り組み、行政の枠を超えた交流を進めています。3ヶ月に1回会議を持ち、他ホームの良いところを学びあうなど交流を進めています。事例検討会を始めとして学習の場としても活用しています。大阪府下対象のネットワークにも加入しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や入居時の面接などには本人と家族と一緒に来られること勧めています。希望者には「お試し利用」として体験入居をしてもらったり、家庭訪問をして利用者となじみの関係を作ったりしています。入居後は馴染めるまでの間、家族の面会を密にしてもらい、家族との外出や外泊をしてもらうなど安心してホーム生活が送れるように支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員が皿などを落とし破損した時、失敗して落ち込んだ時など利用者に慰められ励まされることがあります。裁縫や編み物、冠婚葬祭の決まりごとなどを教えてもらうことも多く、誕生日を祝ったり、敬老の日には長寿を喜んだり、ともに支えあい喜びあう関係があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者や家族の意向を尊重した支援を心がけています。手でつまんで食べたい、自分でお金を持ってみたい、一人で過ごしたい、お花を活けたいなど、それぞれの意向は違いますが、できるだけ希望に添った支援をしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成時、見直し時にはアセスメントを行い、ケアプラン会議を開いて、利用者や家族の意見を反映した介護計画書を作成しています。介護計画書は見やすい場所に置き職員間で共有していますが、一部職員の共有サインが無いものがあります。今後は職員全員の確認サインが望まれます。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書の見直しは3ヶ月毎に行なっています。モニタリングを行い現状に即してプラン修正をするなど細やかな配慮をしています。その他、必要時には随時見直しを行なっています。介護計画書は家族へ説明して了承サインをもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	同法人診療所との医療連携支 援があり週1回の訪問診療が 受けられます。医療依存度 が高い利用者の中には、24 時間支援体制もあります。同 法人管理栄養士による食生活 相談や献立作成への助言も受 けることができます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	利用者がそれぞれの希望する 、かかりつけ医療機関で引き 続き医療が受けられるように 支援しています。専門医の診 断、治療が必要な場合には 紹介状を作成し、他科への受 診指導も行なっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり 方について、できるだけ早い 段階から本人や家族等ならび にかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	重度化した場合や終末期の対 応については本人や家族の希 望を尊重し、できるだけホー ムで支援する方針を明確にし ています。しかし、入院等が 必要な場合の判断については 医師の指示を優先しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りやプライバシーを尊重した対応を心がけています。利用者の記録等の保管は慎重にしています。ホーム職員採用時の契約書には利用者の個人情報保護を義務付ける文面があり、職員に主旨を徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に添った暮らしの支援をしています。居間のコタツで過ごす、草花の手入れをする、調理をする、入浴をする、自室で過ごすなど、それぞれの思いが尊重されています。希望を表現しにくい利用者については表情やしぐさなどから積極的に意向を汲み取るように努めています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の夕食作りを利用者と共に楽しんでいます。週3回は利用者と一緒に買い物に出かけ、希望の献立に添った夕食作りをしています。朝、昼は同法人施設から給食が運ばれ、盛り付けをしたり配膳をしたり、それぞれの希望する役割を楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	土日も休まず毎日入浴ができます。午前、午後、行事が重なる時には夕方にも、気の向いた時間に入浴ができます。入浴を好まれない場合にも職員がタイミングを見て勧め、週3回程の入浴回数が保たれるよう配慮しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	編み物をする、草花の世話をする、ホームで飼っている犬と散歩をする、夕食の米を研ぐ、テレビをみるなど、それぞれに楽しみ事は違いますが、利用者の希望に添った支援に努めています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物をする、回転寿司店などへ外食に行く、犬の散歩をする、家族と出かけるなど、最低週1回以上の外出支援をしています。その他にも隣接したデイサービスセンターや老人保健施設の行事に参加するなど、ホーム外へ出る機会を多くするようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はホーム玄関に鍵をかけていません。利用者がホーム外へ出られる場合には職員が必ず見守りサポートをしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防防災避難訓練は年2回、そのうち1回は消防署の協力を得ています。具体的な避難経路を確認して安全に利用者を誘導するなどの訓練をしています。法人では災害対策用の食料品や水の確保を行なう方針を決め、現在準備中です。ホーム用の備蓄はこれから行なう予定です。	○	災害対策用として、ホーム内に食料品、飲料水の備蓄が求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は三食ともに把握し、水分摂取量は一日を通して把握し記録しています。栄養バランスや食材の調理法については同法人管理栄養士から直接アドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースのたたみコーナーには掘りこたつがあり愛用されています。食堂兼居間にはソファが置かれ、それぞれが好きな場所でくつろげます。また、廊下は広く台所は区切られ、自由な空間があります。草花や鉢植えを置いて季節感を取り入れています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔感のある居室環境が整えられています。利用者は室内に冷蔵庫や湯茶セット、イス、タンス、衣装ケース、時計、仏壇、活け花、ぬいぐるみなどを置いて過ごされています。利用者それぞれが自室で落ち着けるように冷暖房の調整も適切に行われています。		